

駐停車中は、 「サイドブレーキ」の確認と「輪留」の設置

止まっていた・・・トラクターにひかれ死亡

トラクターのエンジンは停止していましたが、
ブレーキはかかっていたいなかった

2020/8/19(水) 20:28

19日午前11時すぎ、男性(87)が、自宅横の畑でトラクターにひかれているのを、近くにいた工事作業員が見つかり、消防に通報しました。男性は上半身をトラクターの後輪にひかれた状態で倒れていて、病院に運ばれましたが、およそ1時間半後に死亡しました。当時、男性は1人で農作業をしていて、トラクターのエンジンは停止していましたが、ブレーキはかかっていたいなかったということです。

信号待ちのトラックが突然爆発

冷却スプレーのガスが原因か

車内でたばこを吸おうと、ライターで火を付ける際に、引火して爆発

車内では、窓を開けただけでは換気が不十分で、
足元に充満していることに気付かない

警察は、「スプレーを使う際には十分注意して」と呼び掛け

2020/8/19(水) 20:05

19日午後4時20分ごろ、広島県で信号待ちのトラックが突然爆発した。フロントガラスが吹き飛び、車体は大破したが、運転していた20代の男性は顔に軽いやけどを負っただけで無事だった。警察などによると、男性が体を冷やす冷却スプレーのガスが充満していたことに気付かず、車内でたばこを吸おうとライターで火を付ける際に引火して爆発した可能性が高いという。男性は「ライターを使ったら突然爆発した。気がついたらドアや屋根が外れていた」と驚いていた。同署によると、爆発で吹き飛んだ破片で周囲の車7台にも傷が付いたという。消防署によると、冷却スプレーにはジメチルエーテルなど空気より重たく、可燃性の高いガスが含まれていることが多い。車内では窓を開けただけでは換気が不十分で、足元に充満していることに気付かないといい、同署は「スプレーを使う際には十分注意して」と呼び掛けている。